SONY

3-856-958-**09** (1)

TV(1-12ch)/FM/AMラジオ

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SHOWER MATE

ICF-S75V

主な特長

- 浴室内やキッチンでラジオが使える防沫機構*。
- 60分から1分のあいだを1分単位で設定できるカウントタイマー機能。
- わかりやすい日本語機能表示。

*このラジオの防滴の種類は防沫形（JIS日本工業規格）です。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 一温度が非常に高い所（40℃以上）や低い所（0℃以下）。
  - 一直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 一窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。ほこりの多い所。
- ラジオ内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- このラジオのテレビ音声回路は、FM放送の受信回路と兼用であるため、一部の地域では、テレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。このときは、お客様ご相談センターまたは、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

乾電池についてのご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は充電できません。
- 長い間乾電池を使わないときは、取り出しておいてください。

万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから、新しい乾電池を入れてください。

防水性についてのご注意

このラジオは、浴室でもお使いいただけるように防沫機構になっていますが、次の点に充分ご注意ください。

- 大量に水をかけないでください。
- 水中につけないでください。
- 石鹸の泡のついた手でさわらないでください。
- ドライヤーで乾かさないでください。
- スピーカー内に水が入った場合は本体をさかさまにして、水を出してください。
- 電池入れのふたの開閉は、乾いた布で水滴をふき取ってから水のかからないところで乾いた手で行ってください。
- 電池入れのふたは確実に閉めた状態でお使いください。電池入れのゴム部分は防沫用のパッキンです。FMアンテナコードを挟んだり、パッキンに傷をつけないようご注意ください。完全に防水できなくなるおそれがあります。
- 長い間70℃以上の熱湯にさらさないでください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

受信周波数	TV：4〜12チャンネル FM：76〜108 MHz（TV1〜3チャンネル） AM：530〜1,605 kHz
スピーカー	直径 7.7 cm 丸型 8Ω 1個
実用最大出力	250 mW （JEITA*）
電源	DC 4.5 V 単2形乾電池 3本
最大外形寸法	約205 × 134.5 × 66.7 mm （幅/高さ/奥行き）（JEITA*）
質量	約 650 g（乾電池含む）

*JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

付属品

ソニー単2形乾電池（お試し用*）（3）
吸着盤（1）
取扱説明書・保証書（1）
ソニー相談窓口のご案内（1）

* 付属の乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能時期とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ラジオ
ICF-S75V

保証書：T10-1001A-1が入ります。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

- http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター

- ナビダイヤル ………… 0570-00-3311
  （全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
  （ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
- FAX ……………………… 0466-31-2595

受付時間 ：月〜金 9:00〜20:00　土・日・祝日 9:00〜17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

乾電池を入れる

1 **バックルを手前に引いてはずし、電池入れのふたを開ける。**
ふたを開けるときは表面についた水滴を乾いた布でふき取ってください。

2 **乾電池を入れる。**
初めて乾電池を入れると、表示窓に「AM 12:00」が点滅します。点滅を止めるには、現時刻ボタンを押してください。

3 **ふたを閉じ、バックルをカチッと音がするまで確実に閉める。**

乾電池の持続時間 ソニー単2形（R14）マンガン乾電池使用時（JEITA*）

放送の種類	持続時間
TV放送	約62時間
FM放送	約75時間
AM放送	約85時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。実際の電池持続時間は使用する機器の状況により変動する可能性があります。

乾電池の交換時期

乾電池が消耗してくると、音が小さくなったり、ひずんだりします。さらに消耗すると、表示窓に「⊂⊃」が点灯し、ラジオが止まります。その場合は、乾電池を3本とも新しいものと交換してください。

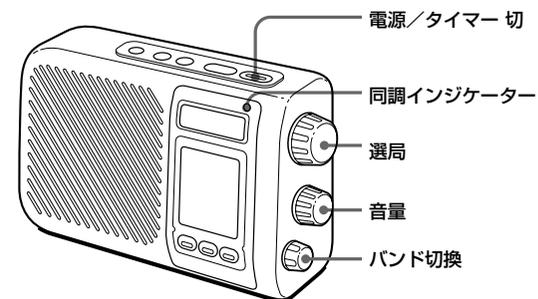
- 交換するときは、約1分以内に入れ換えてください。約1分以上経過すると、時計とタイマー設定が初期状態に戻ります。その場合は、もう1度合わせてください。
- 交換したあとは、電源／タイマー 切ボタンを押して、表示窓の「⊂⊃」を消してください。

時計を合わせる

1 **現時刻ボタンを押しながら、+または−ボタンを押して、時刻を合わせる。**
+ボタンを押すと時刻が進み、−ボタンを押すと戻ります。押し続けると速く進みます。

2 **時報（電話117番など）と同時に、現時刻ボタンから指を離す。**
表示窓の「：」が点滅を始め、時計が動き出します。

- 時計は12時間表示です。AMは午前、PMは午後です。
  AM12:00＝真夜中
  PM12:00＝正午

ラジオを聞く

1 **電源／タイマー 切ボタンを押して、電源を入れる。**

2 **バンド切換つまみで、聞きたいバンドを選ぶ。**
TV（4-12ch）放送を聞く場合はTVに合わせてください。
また、TV（1-3ch）放送を聞く場合はFMに合わせます。

3 **選局つまみを回して聞きたい放送局を選ぶ。**
放送を受信すると同調インジケーターが点灯します。

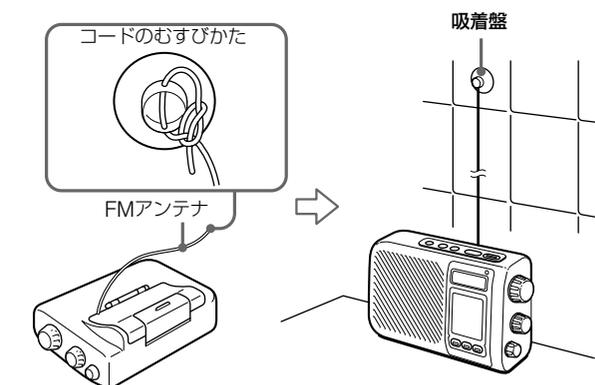
4 **音量を調節する。**

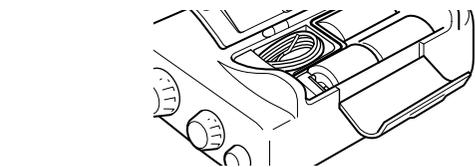
電源を切るときは

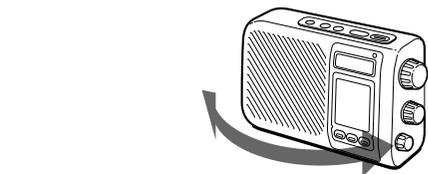
電源／タイマー 切ボタンをもう1度押します。

受信状態を良くするには

テレビ、FM放送の場合

FMアンテナのコードの先端に付属の吸着盤を取りつけ、最も良く受信できる方向に吸着盤を壁に固定する。

FMアンテナをしまう

本体電池入れのふたを開け、図のようにFMアンテナコードを収納スペースからはみ出ないようにしっかりとしまいます。
このとき、ふたと防沫用パッキン（ゴム部分）の間にFMアンテナコードを挟まないようにご注意ください。完全に防水できなくなるおそれがあります。

AM放送の場合

AMアンテナは内蔵しているので、ラジオ本体の向きによって受信状態が変わります。最も良く受信できる向きにしてお聞きください。

タイマーを使う

設定した時間が過ぎると自動的に電源が切れます。60分から1分後まで、1分刻みで設定することができます。

タイマーを設定する

1 **タイマーボタンを押す。**
ラジオの電源が入り、表示窓に「60」とタイマー表示「⊘」が表示されます。

2 **+または−ボタンを押して、希望の動作時間を表示させる。**
+，−ボタンから指を離すと、表示された時間からタイマーが動きます。
設定した時間が経過すると、ブザー音が約5秒間鳴り電源が切れます。タイマー動作が終わった後は現在時刻表示になります。

タイマーの時間は記憶されています

翌日も同じ時間だけ動作させたいときは、タイマーボタンを押すだけで、設定しなおす必要はありません。

設定後に動作時間を変えるには

タイマーボタンを押したあと、+または−ボタンを押して希望の時間を設定します。変えた時間からタイマーは動作します。

タイマーを解除するには

電源／タイマー 切ボタンを押します。電源が切れて表示窓の「⊘」が消え、現在時刻表示になります。ラジオを聞きたいときは、電源／タイマー 切ボタンを押して、電源を入れます。

現在時刻表示に変えるには

現時刻ボタンを押します。

表示窓にはタイマー表示「⊘」と現在時刻が表示されます。

タイマー時間表示に戻すには

タイマーボタンを押します。表示窓には進行中のタイマー時間が表示されます。

ラジオをつり下げてお使いになりたいときは

図のように取り付けてお使いください。